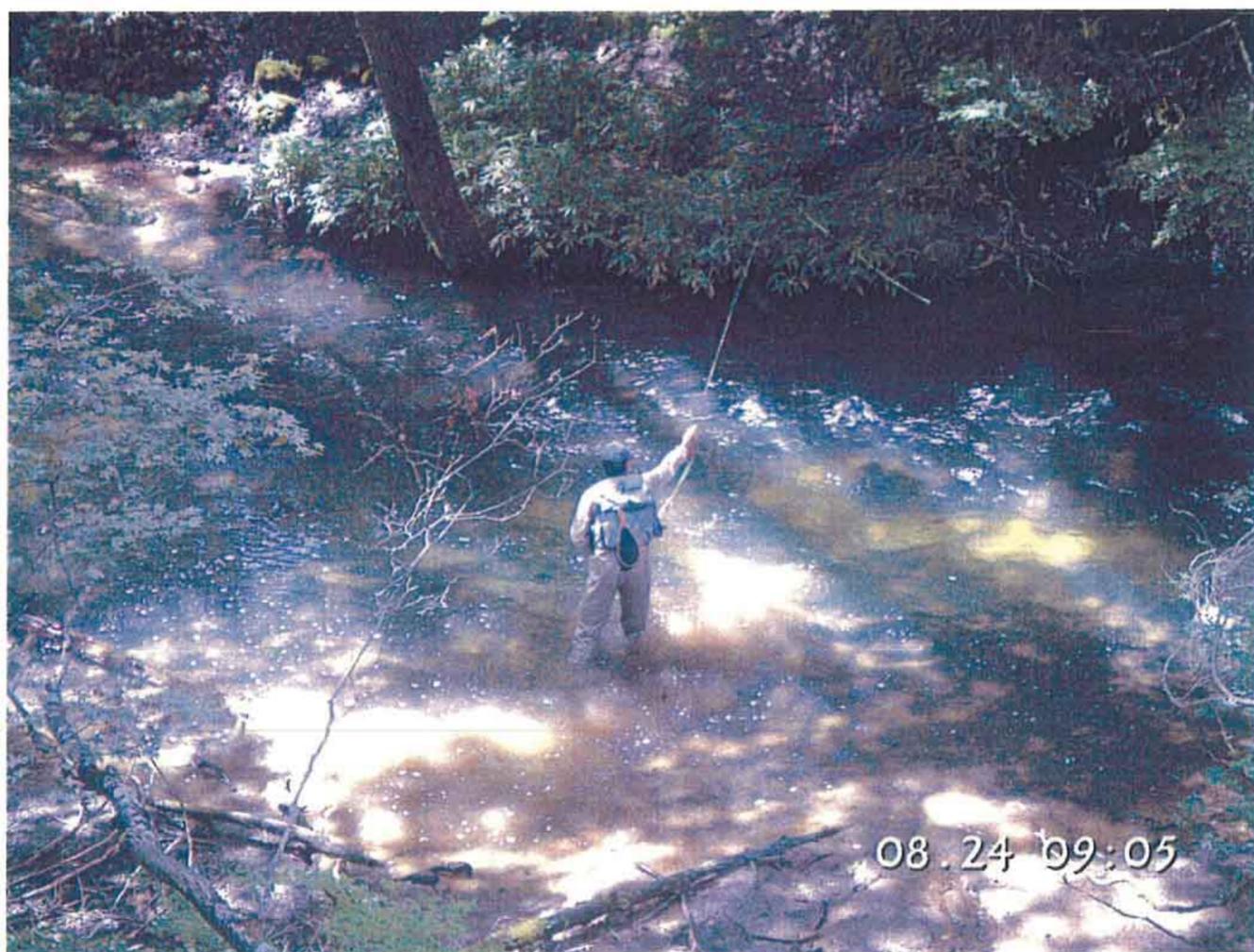


平成19年度研究協力業務実施報告書



全国内水面漁業協同組合連合会

平成19年度研究協力業務実施報告書

研究協力業務は、独立行政法人水産総合研究センターが自然環境に配慮した水産業の振興を図るために湯の湖・湯川において行う試験研究の推進に協力・支援を行う事業である。

本年度も、中央水産研究所内水面研究部の指導のもと、関係各位の協力を得て下記業務を実施した。

1 調査業務（魚類資源動態調査）

内水面冷水域における遊漁資源管理技術の開発に資する知見を得るため、湯の湖・湯川において釣魚者へのアンケート調査（湯の湖・舟・岸合計1,583枚、湯川1,227枚、計2,810枚の回答）を行い、放流及び天然魚類資源の動態や釣魚の実態の把握に努めた。

その釣魚券購入者に対する回収率はアンケート調査を実施した6年前の7%から、9%、14%、17%、21%、23%と向上しており、今年度は25%（湯の湖・舟・岸22%、湯川31%）となった。

2 環境保全業務

（1）釣り場管理事業の実施により発生するゴミ類の不法投棄防止及び除去

釣魚者に対して、不用となった釣糸・釣針などの釣り具等の遺棄について、注意を喚起した。

シーズン終了後の10月6日に、湯川の愛好者による清掃奉仕「リバークリーンと懇談会」を計画し、インターネットで24名（昨年22名）の参加申し込みを受けた。前日に1名の欠席通知があったが、水産研究所4名、当会から3名の合計30名で、川岸や遊歩道沿いのゴミ、木の枝に絡まった釣り糸・ルアー等の放置釣具の除去を行った（写真1）。清掃活動終了後、水産研究所において、最近の研究に関するレクチャーを受け、意見交換の懇談会を行い、好評であった。

また、湯川においては釣り人の増加する土・日に、監視業務のかたわら、遊歩道や川辺に散乱するゴミや放置釣具等の清掃を行った。これにより、近年、川辺のゴミが少なくなったとの評価を得ている。

（2）湿原立入禁止区域への進入防止の啓発

釣魚者に対して配布するパンフレットに「釣魚心得」の重要事項として、湿原への進入防止を記載するとともに、釣魚券発売所において掲示する等啓発に努めた。

また、湯川エリア内に設置している表示板でも表した。

（3）釣魚エリアにおける禁煙

日光市環境美化都市に関する条例により、釣魚エリア全体が含まれるラムサール条約

登録湿地帯周辺が禁煙エリアになったことから、前出のパンフレットで周知を図るとともに、釣魚券発売所にポスターを掲示し、釣魚券発売時に口頭で釣魚者に伝達した。

(4) 水域環境の監視

湯の湖における釣魚者に対して、撒き餌・寄せ餌・生き餌の投棄の禁止を呼びかけると共に、常に流域の水環境に注意し、異常時には研究所への連絡や関係各署への通報など監視を行った。

(5) 水質調査

中央水産研究所内水面研究部及び栃木県等が定期的に行っている湯の湖の水質調査に機材提供等の協力を行った。

(6) コカナダモの除去活動等への協力

外来種の水草であるコカナダモが湯の湖全域に勢力範囲を広げ、ボートの乗り入れや釣りの障害となるばかりか、景観を阻害したり、岸辺で腐敗し悪臭を放ったりと親水環境への影響が顕著になっている。

しかし、今年に限っては、解禁時になっても水面上にコカナダモが見られることがなく、この状況は夏場まで続いた。夏場以降は例年のように繁茂が見られ、除去作業を行った。

4月27日に地元自治会や奥日光清流清湖保全協議会が主催する清掃活動に積極的に参加した。また、9月のファイナルフィッシングフェスタの前に日光市が魚探を使ったコカナダモの繁殖状況調査を行った。

さらに、禁漁期に入った11月12～16日には、昨年同様、水草刈取船を湯の湖にトラックで搬入し、コカナダモの除去を行い、11月20日には水産研究所、栃木県及び日光市の職員、地元ボランティアとともに、人力によるコカナダモの除去を行った。

3 危険防止対策

(1) 水難事故防止対策

日光警察署等の協力・指導のもとに、釣り場における水難事故には常に留意し、継続して監視体制を強化した。また、緊急事態発生の際の連絡体制を策定し、事務所に常時掲示しておくこととした。

9月6日の台風により、湯川の木道が破壊され、立ち入り禁止になったことを受けて、湯川の釣魚券の発売を控えるとともに、随時巡回して状況を釣魚者に伝えた（写真2, 3）。

(2) 犯罪、違法行為防止対策

5月1日の解禁日には多数の釣り人が湯の湖・湯川の釣り場に来場するため、釣り人間のトラブルや車上荒らし、また、立入禁止区域への進入等の発生が予想されたため、日光警察署に防犯パトロール等、特段の協力を要請した。その他、不測の事態の発生に

備え、警備会社に周辺のパトロールを委託した。

(3) 駐車違反对策

釣魚者の違法駐車防止対策として、カラーコーン（本会と日光警察署の連名入り）を要所に敷設するとともに、釣り場監視員が巡回し、注意勧告を行った。特に、解禁日の交通渋滞等に対応するため、解禁日前夜から当日にかけて、警察官の指導の下に、重点箇所には臨時交通整理員を配置した。

4 釣り場管理事業

(1) 総釣魚者数

近年、内水面における遊漁者数は全国的に減少傾向を示しているが、当釣り場においてもその傾向にあり、平成9年度をピーク(26,818人)に、利用者は年々減少している。

それに加えて、本年度は7月及び9月に台風の直撃にあい、特に湯川は遊漁ができない状況が続いた。湯の湖においては、台風の翌日にも、数は少ないものの、遊漁者が見られる状況であった。

19年度の総数では、11,184人の利用となっており、前年(11,919人)と比較して735人の減少(6.2%減)となり、平成元年の水準となった(表1参照)。

平成14年から女子・子供券が廃止となり、小学生以下は無料となったため、子供券(無料)を発券し、人数の把握に努めた。その結果、昨年より37枚多い964枚を発券した。

この数字を加算すると、本年度の釣魚者数は11,221名となる。

(2) 釣り場別釣魚者数

釣り場別釣魚者数は、湯の湖が前年度比1.4%増の7,220人(前年7,118人)で、総釣魚者数の65%(前年60%)を占めた。湯の湖は、舟釣りと岸釣りに区分されるが、舟釣りは前年の2%増の4,082人(前年4,012人)で、総釣魚者では36%を占め(前年は34%)、岸釣りは前年の1%増の3,138人(前年3,106人)で総釣魚者の28%(前年26%)であった。

一方、湯川における利用者数は3,964人(前年4,801人)で、総釣魚者数の40%(前年35%)を占め、今年度は前年比5ポイントの減少(昨年は前年比5ポイント増)となった。

今年度は、湯の湖での若干の増加が見られたものの、湯川の釣魚者の減少が顕著に見られた(表2参照)。これは、台風直撃の被害にあった7月と9月の減少が響いた。

(3) 月別釣魚者数

各月の釣魚者数の変動を割合で比較すると、例年の傾向どおり、5月の利用者が最も多く、3,089人とシーズン全体の27%(昨年26%)を占めた。続く6月は2,453人で22%(昨年21%)、7月は最低の1,330人で12%(昨年14%)、8月は2,253人で昨年と同じ20%、9月は2,059人と全体の18%(昨年20%)を占めて終了した(表2参

照)。

比率だけを見ると、例年は5月の落ち込みを8月、9月で挽回しているが、今年は釣魚者実数では、7月および9月の落ち込みが大きく、特に湯川での落ち込みが顕著であった。内容を見ると、湯の湖では7月を除いて、昨年より増加しているが、湯川では全シーズンを通じて昨年より減少した。特に、7、8月は昨年の78および76%、9月に至っては66%であった。これは、(2)でふれたように、7月の台風が8月まで影響し、9月に再度の台風が追い打ちをかけたと考える。

(4) 釣りカードによる釣魚者組成

本会では、釣魚者の実態を把握するため、毎年釣魚者に対し住所、氏名、釣り方等記載する簡単なアンケート形式の釣りカードの記入を要請し、その結果を表3にとりまとめた。本年度は8,316枚(18年度8,980枚、17年度9,147枚、16年度6,707枚)を回収した(釣魚券購入者比74.45%)。

前年度より釣魚者数が6.2%減少し、釣りカードの回収枚数は7.4ポイント減になった。(回収率は0.9ポイント減)

1) 都県別組成

湯の湖を利用した釣魚者の数は、船釣りでは埼玉県、栃木県、群馬県、茨城県、東京都、千葉県、神奈川県で、埼玉県と栃木県、東京都と茨城県が入れ替わった。岸釣りでは、栃木県、埼玉県、群馬県、茨城県、東京都の順で、前年3位の東京都が一昨年3位の群馬県と入れ替わっただけではなく、茨城県にも抜かれて5位となっている。

昨年同様、栃木県が26%(前年29%)同じく埼玉県26%(同23%)と上位2県で52%(昨年も52%)を占めたが、昨年に引き続き、埼玉県が増加し、栃木県が減少した。その他は、群馬県16%(同14%)、東京都9%(同12%)、千葉県5%(同5%)、茨城県10%(同9%)、神奈川県3%(同3%)その他(県名無記入を含む)6%(同7%)の順で、東京都の落ち込みが目立った。

湯川では、湯の湖と異なり、前年同様東京都民の利用が多かった(24%、昨年23%)。2位と3位が入れ替わり、栃木県20%(昨年18%)、埼玉県19%(20%)と一昨年の順になった。次いで、群馬県(10%)、千葉県(9%)、茨城県(7%)、神奈川県(5%)となった。昨年5位の神奈川県が順位を下げた。

2) 釣り方別組成

無記入を除いて、釣り方別を釣り場別にみると、湯の湖における舟釣りでは、餌釣りが54%(昨年51%)で、次いでルアー釣り、フライ釣りであった。しかし、東京都からの釣魚者はルアー釣りが35%と1位を占め、他県とは異なった結果であった。

湯の湖の岸釣りでは、ルアー釣りが34%、餌釣りが29%、フライ釣りが23%と、フライが3ポイントほど増加した。

一方、全域がキャッチアンドリリース区域である湯川では、例年フライ釣りが主流を示しており、本年度も、フライが84%、ルアーが10%、餌釣りが2%と、昨年とほぼ同

じ組成であった。また、群馬県からの釣魚者の6%が餌釣りをを行い、東京都の0.5%、他県の2%以下と大きな違いを見せた。

8月のサマーフェスタ、9月のファイナルフェスタ（いずれも釣り大会）は例年土曜日に開催してきたが、日曜にして欲しいとの要望があったので、9月11日から22日までの間に釣魚券を購入した遊漁者（グループ）にアンケート調査を行った。

286グループから回答を得た。その結果、

これまで通り、土曜日がよい	46.8%
日曜日に変更して欲しい	16.2%
どちらでも良い	37.0%

であった。この結果を受け、これまで通り、土曜日開催とすることとした。

同時に検量の時間（従来12時～13時）を設問したところ、

もっと早い方がよい	5.4%
現在と同じでよい	67.1%
もっと遅い方がよい	27.5%

で、これも従来どおりとなった

(5) 成魚放流（湯の湖）

湯の湖へはニジマスとカワマスを放流した。本年度の成魚放流実績を表に示す。

湯の湖へニジマス5,318Kg（前年4,592Kg）、カワマス380Kg（前年1,065kg）の放流を行った。放流は、原則として週2回とし、状況に応じ多少増減させた。更に、放流当日の天候、休祝祭日等を考慮し、放流時刻、放流場所等、適宜変更して実施した。

前年同様、湯川へは放流を行わなかった。

	ニジマス		カワマス		計
	小型	大型	小型	大型	
湯の湖	3,565kg	1,753kg	350kg	30Kg	5,698kg
	21,053尾	2,134尾	4,097尾	70尾	27,354尾

(6) 湯の湖における稚魚放流

禁漁期に入った10月12日に、水産研究所が行う種苗性強化試験に用いるヒメマスの稚魚（試験区および対象区の全量マーキング）放流を行った。また同時にホンマスの稚魚も放流した。例年行ってきた夏休み中の小中学生を対象に標識放流を体験させるイベントは天候不順で中止した。

(7) その他

1) 中央水産研究所内水面研究部が行う普及啓蒙活動への協力

中央水産研究所内水面研究部が主に青少年を対象に実施している採卵体験学習への

協力や、同部が毎年実施している一般公開への積極的な対応を行い、内水面漁業への理解や知識の普及に努めてきた。

2) 「湯川倶楽部」の活動

湯川の環境保全に関心を持っている人で、清掃活動やシンポジウムなどに参加する意思のある人をメンバーとする釣り人の会で結成6年目になる。本年度は新たに16名(昨年度60名)の参加があり、総勢225名となった。釣りシーズン後の10月6日に、2-(1)に記述の、湯川倶楽部員を主体とした「リバークリーンと意見交換会」を行った。

昨年11月に行った「リバーウォッチング」は、時節柄天候不順の日が多く、前もって日時を特定することが困難なことから、今年中止とし、講演会と意見交換会をリバークリーンに吸収した。

3) ホームページの活用

全国内水面漁連のホームページに「奥日光トラウトフィッシング 湯の湖・湯川」の項を設け、解禁情報及びイベントの開催や事後報告の情報等の発信を続けている。

表1. 有料釣魚者数の推移

平成 元年	湯の湖 (前年度比)	湯 川 (前年度比)	総 計 (前年度比)
	9,648 (4.3%)	2,089 (- 3.0%)	11,737 (3.0%)
2	11,036 (14.4)	2,458 (17.7)	13,494 (15.0)
3	8,565 (-22.4)	2,567 (4.4)	11,132 (-17.5)
4	12,168 (42.1)	2,941 (14.6)	15,109 (35.7)
5	14,297 (17.5)	2,633 (-10.5)	16,930 (12.1)
6	15,546 (8.7)	2,503 (- 4.9)	18,049 (6.6)
7	18,725 (20.4)	2,990 (19.5)	21,715 (20.3)
8	23,043 (23.1)	3,243 (8.5)	26,286 (21.0)
9	23,331 (1.2)	3,487 (6.2)	26,813 (2.0)
10	19,944 (-14.5)	3,568 (2.3)	23,512 (-12.3)
11	17,900 (-10.2)	3,954 (11.0)	21,854 (- 7.1)
12	14,055 (-21.5)	3,570 (- 9.7)	17,625 (-19.4)
13	11,704 (-16.7)	3,574 (0.1)	15,278 (-13.3)
14	9,857 (-15.8)	4,554 (27.4)	14,411 (- 5.7) *注1
15	8,509 (-12.7)	4,831 (6.1)	13,340 (- 7.4)
16	8,319 (- 2.2)	4,408 (- 8.8)	12,727 (- 4.6)
17	7,858 (- 5.5)	4,532 (2.8)	12,390 (- 2.6) *注2
18	7,118 (- 9.4)	4,801 (5.9)	11,919 (- 3.8) *注2
19	7,220 (1.4)	3,964 (-17.4)	11,184 (- 6.2)

* 注1 : この年から女性・子供券がなくなり、小学生以下が無料となったことから、小学生以下の釣魚者数は不明。

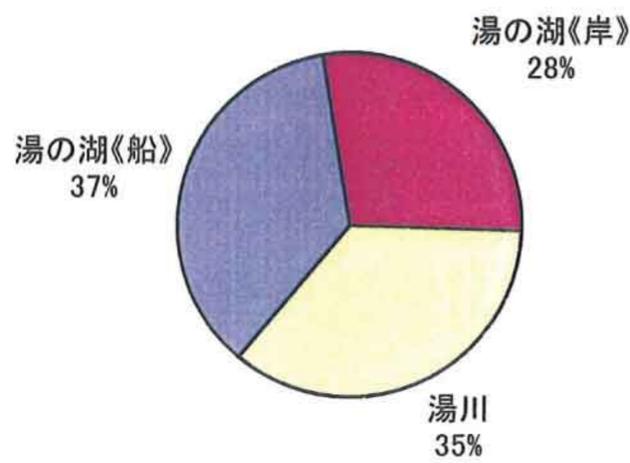
* 注2 : 小学生以下の釣魚者数把握のため、平成17年度から子供券を発券（料金無料）した。

平成17年度の子供券発券枚数は781枚、平成18年度は927枚、19年度は964枚であった。この枚数は、総計に含まれていない。

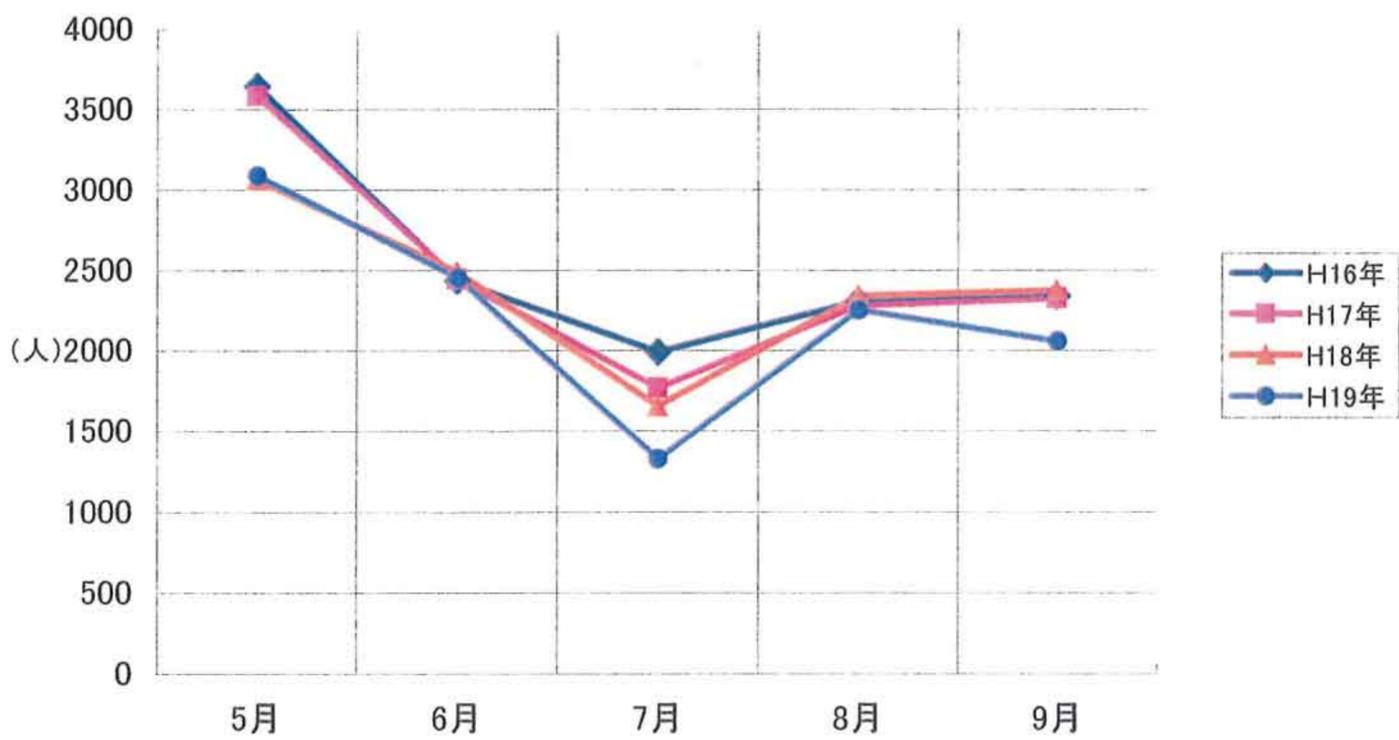
平成19年度湯の湖・湯川釣魚者数

月	湯の湖			湯川	総計	《過去の総計》		
	船	岸	合計			H18年	H17年	H16年
5月	1127	1047	2174	915	3089	3062	3584	3644
6月	728	540	1268	1185	2453	2490	2445	2437
7月	447	299	746	584	1330	1656	1769	1991
8月	937	693	1630	623	2253	2339	2278	2307
9月	843	559	1402	657	2059	2372	2322	2340
合計	4082	3138	7220	3964	11184	11919	12398	12719

釣場別釣魚者数割合



過去4年間の月別釣魚者数



舟	栃木県	埼玉県	東京都	群馬県	千葉県	茨城県	神奈川県	その他県	県無記入	合計
フライ	76	57	40	24	23	28	5	12	9	274
ルアー	226	97	99	71	21	69	23	12	20	638
エサ	380	634	70	372	47	150	27	19	53	1752
ルアー エサ	116	73	35	30	10	25	16	4	17	326
フライ ルアー	52	8	19	15	0	6	1	0	2	103
フライ エサ	9	11	8	0	0	3	0	0	0	31
フライ ルアー エサ	12	4	2	8	0	0	0	0	0	26
釣り方 無記入	13	9	7	15	2	12	3	0	35	96
合計	884	893	280	535	103	293	75	47	136	3246

岸	栃木県	埼玉県	東京都	群馬県	千葉県	茨城県	神奈川県	その他県	県無記入	合計
フライ	103	100	45	61	33	74	15	8	21	460
ルアー	136	180	62	105	34	72	33	17	29	668
エサ	167	135	50	71	45	65	9	1	30	573
ルアー エサ	44	19	14	14	8	5	1	1	8	114
フライ ルアー	16	7	6	17	6	7	0	0	7	66
フライ エサ	2	0	0	2	1	6	0	0	1	12
フライ ルアー エサ	3	0	0	2	5	2	0	0	0	12
釣り方 無記入	9	8	4	6	1	5	1	2	20	56
合計	480	449	181	278	133	236	59	29	116	1961

川	栃木県	埼玉県	東京都	群馬県	千葉県	茨城県	神奈川県	その他県	県無記入	合計
フライ	502	511	649	242	234	150	126	134	70	2618
ルアー	79	57	64	38	26	44	8	4	4	324
エサ	11	9	4	19	2	1	2	0	2	50
ルアー エサ	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
フライ ルアー	24	12	17	4	5	8	6	3	0	79
フライ エサ	3	4	0	0	0	0	0	0	0	7
フライ ルアー エサ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
釣り方 無記入	5	1	1	1	0	0	0	1	16	25
合計	629	595	735	304	267	203	142	142	92	3109



写真1 リバークリーン



写真2 台風で湯川沿いの木道は交通止めに



写真3 増水した湯川